

授業科目 (ナンバリング)		実務実習 (病院・薬局) (NF501) (実践的教育科目)			担当教員	大磯 茂*・仮屋 蘭 博子*・山口 辰哉*・ 一木 裕子*・岩永 真理恵*・中島 健輔* (*実務経験のある教員)・兼任		
展開方法	実習	単位数	20 単位	開講年次・時期	5 年・通年	必修・選択	必修	
授業のねらい								アクティブ ラーニング の 類 型
<p>薬局および病院における参加型実習を通し、本学薬学部薬学科のディプロマポリシーである、薬の専門家として高度化・複雑化する社会の医療ニーズに対応するために必要な知識、医療や薬学に関する諸問題について、有用な科学的データを選択し、自ら論理的に思考・判断できる技能、薬の専門家として十分なコミュニケーション能力、個々の患者や医師・看護師等に薬の情報を的確に提供することができる能力、地域医療・保健に参画することができる能力を備えることを目標とする。</p>								①④⑥ ⑦⑪⑫
ホスピタリティ を構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・ 方法		評価 比率	
専門力	薬の専門家として高度化・複雑化する社会の医療ニーズに対応するために必要な知識を修得する。				実習施設の総括評価 実務実習記録の評価		20% 20%	
情報収集、 分析力	医療や薬学に関する諸問題について、有用な科学的データを選択し、自ら論理的に思考・判断できる技能を修得する。				実習施設の総括評価 実務実習記録の評価		10% 10%	
コミュニケーション力	薬の専門家として十分なコミュニケーション能力を修得する。				実習施設の総括評価 実務実習記録の評価 実習中の態度評価		5% 5% 10%	
協働・課題解決力	個々の患者や医師・看護師等に薬の情報を的確に提供することができる能力を修得する。				実習施設の総括評価 実務実習記録の評価		5% 5%	
多様性理解力	地域医療・保健に参画することができる能力を修得する。				実習施設の総括評価 実務実習記録の評価		5% 5%	
出 席					受験要件			
合 計					100%			
評価基準及び評価手段・方法の補足説明								
上記の評価手段・方法に従い、評価を行う。無断欠席、実習態度不良、誓約書内容遵守違反など実習に支障をきたすような行為が認められた場合、実習中止を検討する。								
授業の概要								
<p>保険調剤、医薬品などの供給・管理、情報提供、健康相談、医療機関や地域との関わりなどの薬局薬剤師業務ならびに調剤および製剤、薬剤管理指導業務、医薬品管理などの病院薬剤師業務に関する臨床実習を行う。 この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、45分とする。</p>								
教科書・参考書								
<p>参考書：薬学生のための病院・薬局実務実習テキスト 2019 じほう：参考書① スタンダード薬学シリーズⅡ 7 臨床薬学Ⅰ 臨床薬学の基礎および処方箋に基づく調剤 (東京化学同人)：参考書② スタンダード薬学シリーズⅡ 7 臨床薬学Ⅱ 薬物療法の実践 (東京化学同人)：参考書③ スタンダード薬学シリーズⅡ 7 臨床薬学Ⅲ チーム医療及び地域の保健・医療・福祉への参画 (東京化学同人)：参考書④ 今日の治療薬 南江堂</p>								
授業外における学修及び学生に期待すること								
<p>卒業後、医療チームに参画できるように、医療倫理観および基本的な臨床技能と態度を身につけて欲しい。 また、本学の実務実習手順を遵守し、特に下記の点に注意して欲しい。 1) 周囲への配慮、2) 緊張感、3) 感謝の気持ち・素直な態度、4)、礼儀、5) 積極性</p>								

回	テーマ	授業の内容	予習・復習	到達目標番号*
1	薬学臨床の基礎 【臨床における心構え】	(薬局・病院実習) ・病院、薬局実習を通して患者、来局者、施設スタッフ、地域関係者等と関わり、医療人としての倫理観をもって相応しい態度でそれぞれの立場に対応・配慮して行動する。	参考書① 第1章第1節 参考書② 第2～3章	1-7/891-894
2	薬学臨床の基礎 【臨床実習の基礎】	(病院実習) ・病院の診療システムおよび他部署の業務を理解し、薬剤師業務との関連を実習期間を通して考察する。	参考書① 第1章第2節 参考書② 第4～5章	900
3	薬学臨床の基礎 【臨床実習の基礎】	(病院実習) ・病棟実習の導入として、「代表的な疾患」の標準治療と基本的な薬学的管理を理解する。	参考書① 第1章第2節 参考書② 第4～5章	901
4	薬学臨床の基礎 【臨床実習の基礎】	(病院実習) ・病棟実習の期間に、「代表的な疾患」の患者について入院から退院まで継続して関わる。	参考書① 第1章第2節 参考書② 第4～5章	902
5	薬学臨床の基礎 【臨床実習の基礎】	(病院実習) ・急性期医療及び周術期医療、周産期、小児、終末期医療、緩和ケア、外来化学療法の実際を体験する。	参考書① 第1章第2節 参考書② 第4～5章	5-7/903-906
6	薬学臨床の基礎 【臨床実習の基礎】	(薬局実習) ・在宅医療、地域包括ケアの中での終末期医療や緩和ケアの薬学的管理について確認する。	参考書① 第1章第2節 参考書② 第4～5章	5-7/905
7	薬学臨床の基礎 【臨床実習の基礎】	(薬局実習) ・院外処方で実施される外来化学療法での薬学的管理について確認する。	参考書① 第1章第2節 参考書② 第4～5章	906
8	薬学臨床の基礎 【臨床実習の基礎】	(薬局実習) ・保険薬局施設で適用される医療保険の要件、薬局薬剤師の保険要件を実習施設で確認する。 ・保険請求などの業務の実際を確認する。	参考書① 第1章第2節 参考書② 第4～5章	907
9	薬学臨床の基礎 【臨床実習の基礎】	(病院実習) ・病院薬剤業務のうち、保険算定要件との関係について確認する。	参考書① 第1章第2節 参考書② 第4～5章	907
10	薬学臨床の基礎 【臨床実習の基礎】	(薬局実習) ・薬局における医療提供システムおよび来局者への健康相談、販売等の薬剤師業務を理解し、その関連を実習期間を通して考察する。	参考書① 第1章第2節 参考書② 第4～5章	908

回	テーマ	授業の内容	予習・復習	到達目標番号*
11	薬学臨床の基礎 【臨床実習の基礎】	(薬局実習) ・「代表的な疾患」患者の調剤において、処方せんの受付から調剤薬交付までを継続して体験する。	参考書① 第1章第2節 参考書② 第4～5章	909
12	処方せんに基づく調剤 【法令・規則等の理解と遵守】	(薬局実習) ・薬局内の実際の書類や掲示等から薬事関連法規に規定された法的文書等を確認し、その記載、保存、管理を実施する。 ・薬事関連法規を意識して調剤業務全般を体験する。	参考書① 第2章第1節 参考書② 第6章	911-912
13	処方せんに基づく調剤 【法令・規則等の理解と遵守】	(病院実習) ・実習施設での調剤業務の中で薬事関連法規に規定された法的文書等の取り扱いを体験する。 ・薬事関連法規を意識して調剤業務全般を体験する。	参考書① 第2章第1節 参考書② 第6章	911-912
14	処方せんに基づく調剤 【法令・規則等の理解と遵守】	(薬局実習) ・保険薬局の業務、施設、設備等と薬事関連法規との関連性の実際を理解する。	参考書① 第2章第1節 参考書② 第6章	913
15	処方せんに基づく調剤 【処方せんと疑義照会】	(薬局実習) ・実際の薬局者処方せんを教材にして各記載事項の意義を確認しながら、処方せん監査を実施し、その妥当性を判断する。	参考書① 第2章第2節 参考書② 第7章	920-922
16	処方せんに基づく調剤 【処方せんと疑義照会】	(病院実習) ・調剤(注射剤を含む)業務の中で、処方せんを監査し、その妥当性を判断する。	参考書① 第2章第2節 参考書② 第7章	920-922
17	処方せんに基づく調剤 【処方せんと疑義照会】	(薬局実習) ・調剤業務の中で、薬歴やお薬手帳、患者への問診などから判断して、適切でないと思われる処方について疑義照会を体験する。	参考書① 第2章第2節 参考書② 第7章	923-924
18	処方せんに基づく調剤 【処方せんと疑義照会】	(病院実習) ・調剤業務の中で、診療録(カルテ等)、患者への問診等から判断して、適切でないと思われる処方について疑義照会を体験する。	参考書① 第2章第2節 参考書② 第7章	923-924
19	処方せんに基づく調剤 【処方せんに基づく医薬品の調製】	(薬局・病院実習) ・実際の処方せん調剤業務を行いながら以下の事を体験する。 ○処方せんの記載から正しく医薬品、後発品の選択を体験する。 ○実際の計数・計量調剤業務を体験する。 ○特別な注意を要する医薬品の調剤と適切な取り扱いを体験する。 ○調製を終えた薬剤の監査を体験する。	参考書① 第2章第3節 参考書② 第8章	933-937

回	テーマ	授業の内容	予習・復習	到達目標番号*
20	処方せんに基づく調剤 【処方せんに基づく 医薬品の調製】	(薬局実習) ・薬局で取り扱う注射剤の調剤を体験する。	参考書① 第2章第3節 参考書② 第8章	938
21	処方せんに基づく調剤 【処方せんに基づく 医薬品の調製】	(病院実習) ・注射処方せんに従って処方監査から調製までを体験する。	参考書① 第2章第3節 参考書② 第8章	938
22	処方せんに基づく調剤 【処方せんに基づく 医薬品の調製】	(薬局・病院実習) ・施設で処方される医薬品に関し、配合変化を確認しながらその機序と回避方法を理解する。	参考書① 第2章第3節 参考書② 第8章	939
23	処方せんに基づく調剤 【処方せんに基づく 医薬品の調製】	(薬局実習) ・在宅医療での薬局での注射剤調剤を体験する。	参考書① 第2章第3節 参考書② 第8章	940
24	処方せんに基づく調剤 【処方せんに基づく 医薬品の調製】	(病院実習) ・注射剤調剤の中で無菌的混合操作を体験する。	参考書① 第2章第3節 参考書② 第8章	940
25	処方せんに基づく調剤 【処方せんに基づく 医薬品の調製】	(病院実習) ・がん化学療法のレジメンチェックと抗がん剤調剤を体験する。 ・注射剤調剤、抗癌性腫瘍薬取り扱いの中でケミカルハザードの回避操作を体験する。	参考書① 第2章第3節 参考書② 第8章	941
26	処方せんに基づく調剤 【処方せんに基づく 医薬品の調製】	(薬局・病院実習) ・調剤において特別な注意を要する医薬品を確認し、その適切な取り扱いを体験する。	参考書① 第2章第3節 参考書② 第8章	942
27	処方せんに基づく調剤 【処方せんに基づく 医薬品の調製】	(薬局・病院実習) ・調剤業務の中で調製された薬剤の監査を体験する。	参考書① 第2章第3節 参考書② 第8章	943
28	処方せんに基づく調剤 【患者・来局者対応、 服薬指導、患者教育】	(薬局・病院実習) ・薬局では処方せん調剤の患者、来局者対応を初回面談から服薬指導、それらの記録までを実際の患者・来局者で継続的に体験する。 ・病院では病棟等で、入院・外来患者を対象とした継続的な服薬指導とそれらの記録を体験する。	参考書① 第2章第4節 参考書② 第9章	952-958

回	テーマ	授業の内容	予習・復習	到達目標番号*
29	処方せんに基づく調剤 【医薬品の供給と管理】	(薬局実習) ・薬局で取り扱う医薬品を把握し、発注や補充、棚卸等の業務の中で適切な在庫管理を体験する。	参考書① 第2章第5節 参考書② 第10章	967-969
30	処方せんに基づく調剤 【医薬品の供給と管理】	(病院実習) ・施設内のルールに沿って、適切な医薬品管理業務を行う。	参考書① 第2章第5節 参考書② 第10章	967-969
31	処方せんに基づく調剤 【医薬品の供給と管理】	(薬局・病院実習) ・劇薬・毒薬・麻薬・向精神薬および覚醒剤原料の管理や補充、伝票・帳簿処理等を体験する。	参考書① 第2章第5節 参考書② 第10章	970
32	処方せんに基づく調剤 【医薬品の供給と管理】	(病院実習) ・特定生物由来製品の適切な取り扱いを体験する。	参考書① 第2章第5節 参考書② 第10章	971
33	処方せんに基づく調剤 【安全管理】	(薬局・病院実習) ・施設で実施されている医薬品および医薬品以外に関連した安全管理体制、手順書等を確認し、その仕組みを理解する。 ・実習期間を通して安全管理を意識して薬剤師業務を実践する。 ・実践のなかで体験したインシデント、アクシデントや蓄積されたインシデント、アクシデントなどをもとに、その対策について討議あるいは考察し、提案する。	参考書① 第2章第6節 参考書② 第11章	979-982
34	処方せんに基づく調剤 【安全管理】	(薬局実習) ・施設内の感染源と対策を理解し、実習期間を通して実施する。	参考書① 第2章第6節 参考書② 第11章	983
35	処方せんに基づく調剤 【安全管理】	(病院実習) ・調剤やTDM、病棟業務の一環として感染対策を実施する。 ・実習中に体験した事例や蓄積された事例等をもとに、感染対策について考察、提案する。	参考書① 第2章第6節 参考書② 第11章	983-985
36	薬物療法の実践 【患者情報の把握】	(薬局・病院実習) ・施設内で汎用される医療用語や略語を確認・理解する。	参考書① 第3章 参考書③ 第1章	990
37	薬物療法の実践 【患者情報の把握】	(薬局実習) ・処方せん調剤、在宅医療、一般用医薬品販売などにおいて患者や来局者個々の情報を的確に収集・整理し、薬物療法全般に活かす体験をする。 ・問診や得られる検査値等から患者の状態を把握し適切な薬物的管理を考察する。	参考書① 第3章 参考書③ 第1章	991-992

回	テーマ	授業の内容	予習・復習	到達目標番号*
38	薬物療法の実践 【患者情報の把握】	(病院実習) <ul style="list-style-type: none"> ・調剤、医薬品管理、病棟業務などにおいて医療に必要な情報を的確に収集し、薬学的管理、薬物治療に活用する。 ・病棟業務の一環として、診療録や病棟カンファレンス等を通じた医療スタッフとの情報共有から適切な患者情報の収集を体験する。 ・診療情報や患者の訴えを、副作用や薬効と関連づけて考察する。 	参考書① 第3章 参考書③ 第1章	991-992
39	薬物療法の実践 【医薬品情報の収集と活用】	(薬局実習) <ul style="list-style-type: none"> ・施設での医薬品関連情報の情報源と収集方法を理解し、実際の患者、来局者、施設スタッフに適切な医薬品情報を作成して提供する。 ・新薬や薬効別、後発品などの薬局で役に立つ医薬品情報をまとめる。 ・医師からの問い合わせに適切な医薬品情報を作成して提供する。 	参考書① 第3章 参考書③ 第2章	994-998
40	薬物療法の実践 【医薬品情報の収集と活用】	(病院実習) <ul style="list-style-type: none"> ・施設での医薬品関連情報の情報源と収集方法を理解し、収集した情報を評価・加工して適切な情報を患者、医療スタッフ等に提供する。 ・医薬品情報室や病棟での実習の中で、種々の情報源を用いて、院内外の問い合わせに適切に対応する。 	参考書① 第3章 参考書③ 第2章	994-998
41	薬物療法の実践 【処方設計と薬物療法の実践（処方設計と提案）】	(薬局実習) <ul style="list-style-type: none"> ・「代表的な疾患」を有する患者の薬物治療に継続的に関わり、処方せんや薬歴、状態等の情報から、患者の病態を推察し、より有効で安全な薬物療法について考察する。 ・上記薬物治療の処方に適切でないと思われる所があれば、最適な薬物療法を考え指導者に提示し、必要があれば処方医に提案する。 ・上記薬物治療において、アドヒアランスに関する問題を発見し、収集した情報を駆使して考察し、解決策の提案を実践する。 ・上記薬物治療において、経済面での問題を発見し、収集した情報を駆使して考察し、適切な医薬品の選択・提案を実践する。 	参考書① 第3章 参考書③ 第3章	1005-1012
42	薬物療法の実践 【処方設計と薬物療法の実践（処方設計と提案）】	(病院実習) <ul style="list-style-type: none"> ・「代表的な疾患」を有する入院患者の薬物治療に継続的に関わり、収集した患者、医薬品、薬物治療法等に関する情報を駆使し、より有効で安全な薬物治療のために問題点を抽出し、解決策を考察して、処方設計の提案、治療薬の変更・中止の提案等を体験する。 ・上記薬物治療において、アドヒアランスに関する問題を発見し、収集した情報を駆使して考察し、解決策の提案を実践する。 ・上記薬物治療において、経済面での問題を発見し、収集した情報を駆使して考察し、適切な医薬品の選択・提案を実践する。 	参考書① 第3章 参考書③ 第3章	1005-1012

回	テーマ	授業の内容	予習・復習	到達目標番号*
43	薬物療法の実践 【処方設計と薬物療法の実践（薬物療法における効果と副作用の評価）】	(薬局実習) ・「代表的な疾患」を有する患者を継続的に担当し、問診や医療機関から提供される情報（検査値等）等から、患者背景、病態、治療薬、治療法に関する情報等をもとに、薬物治療を考察し、その治療効果および副作用のモニターと評価を体験する。	参考書① 第3章 参考書③ 第3章	1016-1022
44	薬物療法の実践 【処方設計と薬物療法の実践（薬物療法における効果と副作用の評価）】	(病院実習) ・薬物治療の効果および副作用のモニターと評価において必要な項目（症状、検査値等）をリストアップする。 ・TDMの実際を体験する。 ・「代表的な疾患」を有する入院患者の薬物治療に複数の病棟で継続的に関わり、収集した情報等から、より有効で安全な薬物治療の提案を体験する。	参考書① 第3章 参考書③ 第3章	1016-1022
45	薬物療法の実践 【処方設計と薬物療法の実践（薬物療法における効果と副作用の評価）】	(薬局・病院実習) ・収集した患者情報、推察や提案をした内容等を薬歴などにわかりやすく適切に記載することができる。	参考書① 第3章 参考書③ 第3章	1023-1025
46	チーム医療への参画 【医療機関におけるチーム医療】	(病院実習) ・カンファレンス、種々の医療チームの活動への参加等、他の医療スタッフとの連携を体験する。 ・「代表的な疾患」を有する入院患者の薬物治療に継続的に関わり、患者に関する情報の収集と伝達、治療計画の考察、治療効果および副作用の評価等他の医療スタッフとの協働を、継続した複数の病棟活動の中で体験する。	参考書① 第4章 参考書④ 第1～4章	1029-1034
47	チーム医療への参画 【地域におけるチーム医療】	(薬局実習) ・処方せん調剤における医療機関と薬局との連携を体験する。 ・合同で開催される研修会やイベントを体験する。	参考書① 第4章 参考書④ 第1～4章	1037-1038
48	チーム医療への参画 【地域におけるチーム医療】	(病院実習) ・入院時処方や退院時処方を通して、患者情報の伝達を行う。	参考書① 第4章 参考書④ 第5～9章	1037
49	チーム医療への参画 【地域におけるチーム医療】	(薬局実習) ・地域包括センターや保健所等を通して地域で連携して行われている医療、介護、福祉の実際を確認するとともに、できるだけ実際の活動を体験する。	参考書① 第4章 参考書④ 第5～9章	1038
50	地域の保健・医療・福祉への参画 【在宅（訪問）医療・介護への参画】	(薬局実習) ・薬局薬剤師による在宅医療、居宅介護の支援業務を患者宅、施設等への訪問も含め継続的に体験する。 ・在宅に関与する医療、介護スタッフと情報を共有し、患者をサポートする意義を理解する。 ・医師やケアマネジャーへの報告や提案を体験する。	参考書① 第5章 参考書④ 第5～9章	1042-1044

回	テーマ	授業の内容	予習・復習	到達目標番号*
51	地域の保健・医療・福祉への参画 【地域保健（公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動）への参画】	(薬局・病院実習) ・学校薬剤師の指導のもと学校薬剤師業務を体験する。	参考書① 第5章 参考書④ 第8章	1047
52	地域の保健・医療・福祉への参画 【地域保健（公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動）への参画】	(薬局実習) ・地域で行われている薬剤師の関与する保健衛生活動（薬物乱用防止活動、禁煙活動、認知症サポート等）を確認する。 ・実習中に行われる地域の活動に積極的に参加する。	参考書① 第5章 参考書④ 第8～9章	1048
53	地域の保健・医療・福祉への参画 【プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	(薬局実習) ・一般用医薬品の販売を行う薬局で、以下の販売業務や健康相談業務を体験する。 ○店舗で販売している一般用医薬品、健康食品、医療機器等について、特徴や注意点等について確認する。 ○第一類医薬品、要指導医薬品等、法規制に則った薬局での販売業務を体験する。 ○実際の店頭での来局者の健康相談を体験し、指導薬剤師と一緒に来局者個々の症状や生活習慣、環境などから受診勧奨や一般用医薬品販売などの対応を体験する。 ○来局者に生活習慣の改善や疾病の予防の重要性を認識させその具体的な指導を体験する。 ○地域住民に対し疾病の予防や健康維持の啓発活動を体験する。	参考書① 第5章 参考書④ 第8～9章	1053-1057
54	地域の保健・医療・福祉への参画 【災害時医療と薬剤師】	(薬局・病院実習) ・施設やその地域の災害時の体制を確認する。可能であれば災害に対応する活動を体験する。 ・過去の事例等を参考にして、大規模な災害が発生した際の病院、薬局の業務や地域貢献、薬剤師としての役割等について討議、考察する。	参考書① 第5章 参考書④ 第10章	1059-1060

注) 上記の第1回～第54回は、授業の概要を示したもので、授業の順番は変更される場合があります。

*到達目標番号と到達目標の対応は、巻末のコアカリ SB0 番号/項目対応表を参照して下さい。